

地域連携拠点自立化推進事業における取組について

別添

東海北陸地域(愛知県、岐阜県、三重県、長野県、静岡県、富山県、石川県)において地域の特性を活かした広域連携拠点を形成することで、地域発の医工連携プロジェクトが次々と生み出される次世代医療機器産業の基盤を構築します。

取組内容

- **高度専門人材の招聘**
医療機器開発プロジェクト全体を見通す高度な知識を有する事業化人材や専門分野支援人材を首都圏から招聘し、支援サービスを提供します。
- **国内外ベンチャー医療機器シーズの活用による機器開発の促進**
国内外のベンチャーシーズとの橋渡し(マッチング)活動を通じて、地域企業の医療機器開発力の強化とともに、国内外ベンチャーの医療機器シーズの事業化を進めます。
- **北陸地域との連携構築**
北陸地域において医療機器分野産業を新たな産業の柱とするべく、中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局が中心となり、新たに北陸地域の支援機関のネットワーク化を図りつつ、東海地域の支援機関ネットワークとの連携を進め、広域的支援体制を構築します。
- **企業データベースの作成**
医工連携プロジェクトを確度高く、効果的・効率的に組成するため、モノづくり企業の技術的強みを集約したデータベースを作成します。

本事業は、国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)が実施する「令和3年度医工連携イノベーション推進事業(地域連携拠点自立化推進事業)」を活用し、公益財団法人名古屋産業科学研究所 中部TLOが取り組むものです。

参画機関

